



(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	M03138
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.toryo.or.jp

JCA-2631 (本社工場)
JCA-EM348 (本社工場)

鉛・クロムフリー

水系2液型エポキシ樹脂塗料
水系 **ボウジン** **テックス**
#270EX



- 帯電防止
- 工程短縮
- 水系で低臭気

静電気対策、帯電防止、低臭の水系塗料

水系ポウジンテックス #270EXは、静電気の帯電を防止するとともに、臭いや環境負荷の少ない水系塗料です。静電気は工場、事業所の多くの箇所で発生・帯電しています。通常は、ほとんど問題になることはありませんが、条件がそろえば事故・災害に発展することがあります。静電気の安全管理は、静電気の帯電を防止することから始まります。適切な施工により静電気を床面から効率的に逃します。



特長・用途

特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 塗り床から静電気を漏洩し帯電を防止する
- 2 臭いの少ない水系塗料
- 3 安定した抵抗値を有している
- 4 3分艶仕上げ

用途

- 1 静電気をきらう重量物運搬のない工場・倉庫
- 2 臭いをきらうコンピュータールーム、クリーンルーム



静電気をきらう工場及び作業場



静電気をきらうクリーンルーム

性能・荷姿

性能			
試験項目	試験方法	結果	試験後抵抗値
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付200μm, 60度	15以下	/
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	H	/
耐摩耗性 (mg) (摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g×2, 1000回転	85±5	/
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に1ヶ月間浸せき	異常なし	変化なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸せき	異常なし	変化なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	少し白化	∞
耐温水性	50℃温水に48時間浸せき	異常なし	変化なし
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆	/
表面抵抗値	N.F.P.A法	1×10 ⁵ ~1×10 ⁸ Ω	
漏洩抵抗値	静電気安全指針に準ずる	1×10 ⁵ ~1×10 ⁸ Ω	
人体帯電電位	ストロール法	10±5V	

※抵抗値は印加電圧500Vにて測定した結果

荷姿

■上塗り材

水系ポウジンテックス
#270EX

12kgセット
(主剤 9kg/硬化剤 3kg)

■下塗り材

水系ポウジンテックス
エポキシシーラーⅡ

14kgセット
(主剤 7kg/硬化剤 7kg)

水系ポウジンテックス
プロエポプライマー

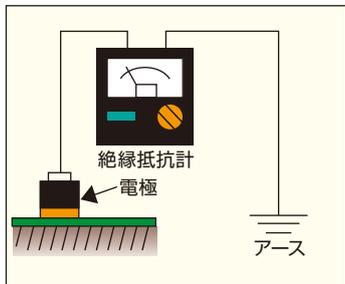
12kgセット
(主剤 4kg/硬化剤 8kg)

MIZUKEI BOUJINTEX #270EX

測定方法

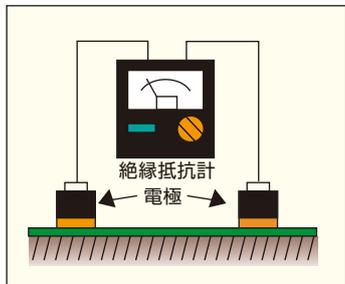
漏洩抵抗値の測定方法

漏洩抵抗値は塗り床と接地面の抵抗値を測定します。



表面抵抗値の測定方法

N.F.P.A(米国防災協会)の定める方法に基づいた床材の測定方法。



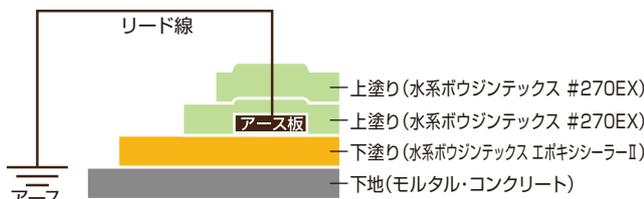
人体帯電電位の測定方法(ストール法)

静電靴を着用して足踏み歩行(約100歩/分)したときの床面との摩擦により発生する人体帯電電位を測定します。



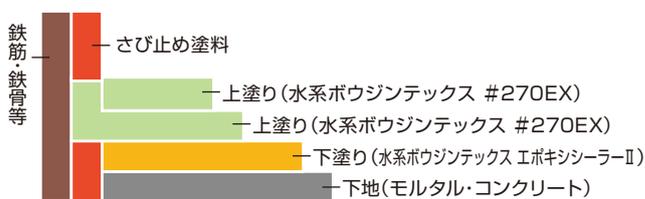
塗装工程

アース板を埋設する場合



※アース板はなるべく歩行の障害にならない部屋の隅や壁際に埋設してください。
 ※人体に帯電した静電気を除去するためには、静電防止靴などの着用が必要です。
 (通常の安全靴などは静電防止機能がないものがありますのでご注意ください。)

鉄筋・鉄骨をアースに用いる場合



※埋設されている鉄筋・鉄骨等にアースを直接接続する場合は、あらかじめ#270EXと接続する部分のさび止め塗料を剥がしてから塗装し、接続するようにしてください。

塗装仕様

①モルタル・コンクリート面

工程	使用塗料	調合割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	水系ボウジンテックス エポキシシーラーII 主剤7kg 硬化剤7kg	—	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	88~117	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
アース	アース板を使用する場合は、下塗り上なるべく歩行の妨げにならない場所にエポキシパテ等で貼り付けてください。鉄筋鉄骨等をアースとして利用する場合は、あらかじめ#270EXと接続する部分のさび止め塗料をグラインダー等で剥がして金属部分を出し、#270EXを接続するよう塗装してください。(H鋼が半径15m以上離れている場合は念のためアース板を施工してください。)									
上塗り	水系ボウジンテックス #270EX 主剤9kg 硬化剤3kg	—	ハケ ローラー	2	0.12~0.15	40~50	1h以内	10h以上 48h以内	—	14h以上 完全硬化3日以上

※塗付量には希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。
 ※下塗りの吸い込みが激しい場合は、下塗りを2回塗装してください。

②旧塗膜面・強化コンクリート等の緻密なコンクリート面

工程	使用塗料	調合割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	下地の汚れ・ゴミ・油分を除去し、必要に応じてサンダーにて目粗しを行う。 旧塗膜の死膜(膨れ、浮き、はがれ部)をケレンし、活膜だけを残す。 ワックスが塗付されている場合は除去して充分乾燥させる。									
下塗り	水系ボウジンテックス プロエポプライマー 主剤4kg 硬化剤8kg	—	ハケ ローラー	1	0.10~0.14	86~120	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
アース	アース板を使用する場合は、下塗り上なるべく歩行の妨げにならない場所にエポキシパテ等で貼り付けてください。鉄筋鉄骨等をアースとして利用する場合は、あらかじめ#270EXと接続する部分のさび止め塗料をグラインダー等で剥がして金属部分を出し、#270EXを接続するよう塗装してください。(H鋼が半径15m以上離れている場合は念のためアース板を施工してください。)									
上塗り	水系ボウジンテックス #270EX 主剤9kg 硬化剤3kg	—	ハケ ローラー	2	0.12~0.15	40~50	1h以内	10h以上 48h以内	—	14h以上 完全硬化3日以上

※塗付量には希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。
 ※旧塗膜が#1000、UFイドの場合は、旧塗膜面を目粗ししてからプロエポプライマーを塗装してください。
 ※旧塗膜の種類により「ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ」「ボウジンテックス 強化シーラー」も適用できます。

注意事項

仕様全般

- 気温10℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を見合わせてください。
- 上塗りの塗付量が規定より多い場合、光沢や色のむらが発生することがあります。
- 下塗りの塗付量が下限値以下の場合には剥離の可能性があります。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- モルタル・コンクリート養生後、多量の水がこぼれた箇所は1週間程充分に乾燥させてください。
- 塗装中に塗料を開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾した塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
- 換気が不十分である場合、乾燥が遅れ、艶むらや色分けの原因になりますのでご注意ください。
- 排水溝には捨てないでください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

- 鉄筋・鉄骨等をアースとして利用する場合は、あらかじめ#270EXと接続する部分のさび止め塗料をグラインダー等で剥がして金属部分を出し、#270EXと接触するように塗装してください。(半径15m以上H鋼が離れている場合は念のためアース板を施工してください。)
- アース板を埋設する場合は、なるべく歩行の妨げにならない場所に埋設してください。
- 人体に帯電した静電気を除去するためには、静電防止靴などの着用が必要です。(通常の安全靴などは静電防止機能がないものがありますのでご注意ください。)
- 水系ボウジンテックス エポキシシーラーⅡは、可使用時間を過ぎてても増粘・ゲル化は起こしませんが、付着性が低下しますので、可使用時間内に手際よく塗装してください。
- 使用前には充分攪拌してください。
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合で混合し、マゼール等で充分攪拌してください。
- 2液型の塗料には可使用時間がありますので可使用時間内に塗装してください。
- 2液型塗料は気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。抵抗値が大きくなったり、色浮き・色違い、硬化不良等の原因となります。
- 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
- 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものをご使用ください。
- 2液型塗料の主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
- 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
- 水系ボウジンテックス #270EXは3分艶仕上げですが、塗膜の摩耗等により光沢が上がる場合があります。
- 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

調色可否表

No.1	オレンジブラウン	×
No.6	オレンジ	×
No.9	ライトグリーン	×
No.10	グリーン	×
No.16	ライトベージュ	○
No.17	ベージュ	×
No.19	ライトグレー	○
No.20	ブラウン	×
No.21	フレッシュグリーン	○
No.22	ハーモニーグリーン	○
No.23	オリーブ	×
No.24	アクアグレー	○
No.25	ブルーグレー	×
No.26	サンドベージュ	×
No.27	モカブラウン	×
No.28	ゴールドブラウン	×
No.29	ニューブラウン	×
No.30	フィーバーグリーン	×
No.32	グレー	○

カラーサンプル



※上記の色以外は対応できませんのでご了承願います。
 ※この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。
 発注の際は、色見本帳または塗り板で色を確認してください。
 ※この塗料は、3分艶のみの対応となります。あらかじめご了承ください。



水谷ペイント株式会社

本社	☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815 愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022 広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042 仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 003-0006 札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工場	本社・埼玉・中部・広島・福岡	

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



☎ 06-6391-3039

営業時間：午前 9:00～12:00 午後 1:00～3:00

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 2009050203530